



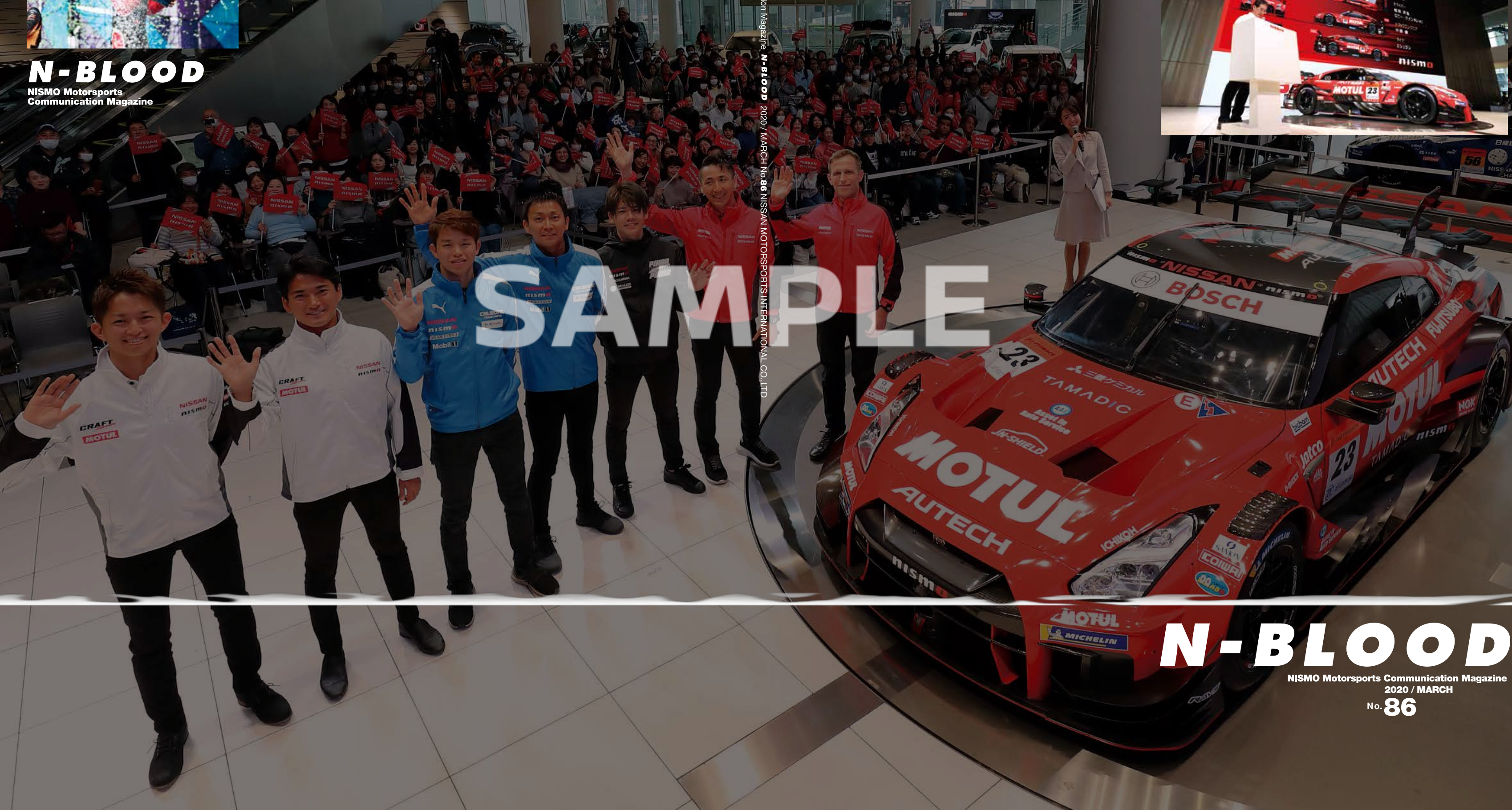
# N-BLOOD

NISMO Motorsports  
Communication Magazine

NISMO Motorsports Communication Magazine **N-BLOOD** 2020 / MARCH No. 86 NISSAN MOTORSPORTS INTERNATIONAL CO., LTD



# SAMPLE



# N-BLOOD

NISMO Motorsports Communication Magazine  
2020 / MARCH  
No. 86

**nismo**

Produced by NISSAN MOTORSPORTS INTERNATIONAL CO., LTD

# 最終コーナーの先に、未来が見える

FIA フォーミュラEのシーズン6は、  
世界に蔓延する新型コロナウイルスの影響を受けて波乱のシーズンとなった  
4戦目を終えて調子を取り戻しつつあるセバスチャン・ブエミと  
コンスタントに入賞圏内でフィニッシュを続けるオリバー・ローランド  
そして高星明誠とヤン・マーデンボローが脇を固める布陣で、日産e.damsは世界各国のライバルたちとのしを削る

ムーレイ・エル・ハッサンの最終コーナーにさしかかるのは、ブエミが駆るNISSAN IM02  
フォーミュラE独特のノイズを響かせ、タイヤを軋ませながら、前を追う  
後半戦に向け、さらに加速していくタイトル争い  
その先には、日産／ニスモが掲げる“インテリジェント・モビリティ”——電気自動車の未来が見えるはずだ

SAMPLE

- 4 **2020 NISSAN/NISMO MOTORSPORTS PROGRAM**  
頂点を目指して2本柱で取り組む
- 8 **SPECIAL INTERVIEW**  
松村基宏総監督、2020年の戦略を語る
- 10 **2020 SUPER GT SERIES - GT500 CLASS**  
日産系チーム体制紹介
- 12 **2020 SUPER GT SERIES - GT500 CLASS**  
新型NISSAN GT-R NISMO GT500を  
ニスモのエンジニアが解説
- 16 **NEW FACE INTERVIEW 1**  
千代勝正  
「全員がライバル。誰にも負けたくない」
- 18 **NEW FACE INTERVIEW 2**  
平峰一貴  
「星野監督の笑顔を見たい!」
- 20 **SUPER GT OVERSEAS CIRCUIT GUIDE**  
GTレース 観戦ガイド 海外編
- 22 **FIA FORMULA E CHAMPIONSHIP**  
第3戦～第5戦のレースをレポート
- 24 **LIQUI-MOLY BATHURST 12 HOUR**  
バサーズ12時間レース  
「ポテンシャルの高さを証明」
- 26 **2020 SUPER GT SERIES-GT300**  
日産／ニスモとともに戦うチームの  
ガレージを訪ねて  
—GAINER
- 28 **SPECIAL ISSUE**  
砂子義一さんのご冥福をお祈りします
- 30 **NISMO DRIVING ACADEMY**  
新たな取り組み “Special Stage” を開催
- 32 **Club NISMO EVENT REPORT**  
Club NISMO レジェンド交流会
- 34 **EVENT REPORT**  
ノスタルジック2デイズにニスモ初出展
- 35 **NISMO PRODUCT**  
NISSAN GT-R(R35)用カーボンフード&GTシフトノブ(復刻)
- 36 **EVENT REPORT**  
第10回イコトチャレンジ in 日産スタジアム
- 37 **NISSAN/NISMO COLLABORATION GOODS**  
湾岸ミッドナイト マキシマムチューン、純チタン製バンブル、  
日産フェアレディ Z Road car evolution
- 38 **SUPPORTER'S PADDOCK**  
PADDOCK TOPICS / 読者プレゼント

# 2020 NISSAN/NISMO MOTORS PORTS PROGRAM

## 日産／ニスモの2020年モータースポーツ活動概要

### 頂点を目指して FIAフォーミュラE選手権& SUPER GTの 2本柱で取り組む

2月16日、横浜市の日産本社ギャラリーにてファンイベントを開催した日産／ニスモ  
そのイベント内で2020年のモータースポーツ活動概要を発表した  
SUPER GTをはじめとするドライバーや監督らが多数集結し、今シーズンの活躍を誓った

日産自動車株式会社およびニスモは、横浜市の日産グローバル本社ギャラリーにて「日産モータースポーツファンイベント」を開催した。日産／ニスモのファンにとっては毎年恒例のイベントで、会場は全国各地より集結した熱心なファンからの今季の活躍に期待する熱い思いで、開始前から熱気をおびていた。

SUPER GT GT500 クラスに関しては、すでに1月に開催された東京オートサロン2020でドライバーラインナップを発表していたが、4チームのタイヤメーカー、カラーリング、スポンサーなども明らかにした。これに加え、SUPER

GT GT300 クラスやスーパー耐久シリーズ、ニュルブルクリンク 24 時間レースなどの国内外のレース参戦計画も発表した。

まずステージにはニスモ代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）の片桐隆夫が登場し、FIAフォーミュラE選手権とSUPER GTを2本柱とする活動について解説を行った。その会見のなかで「様々なテクノロジーを駆使し、チーム全員の情熱とファンの皆さまからの熱い声援を力に変えて、参戦、サポートするあらゆる選手権において、熱い戦いをお見せします」とコメントを残した。

続いて、2020年仕様のカラーリングが施されたGT500マシン、「MOTUL AUTECH GT-R」が初公開となった。GT500クラスの日産系チーム総監督は、昨シーズンに引き続き、ニスモ最高執行責任者の松村基宏が務めること、本山哲エグゼクティブアドバイザーと新たにエグゼクティブアドバイザーに就任するミハエル・クルムが、日産系チームの競争力アップに尽力することを発表した。

活動発表に続き、GT500クラスに参戦する4チームごとのトークショーを開催。そのなかで、3号車で参戦する千代勝正は相棒となる平手晃平

について「同世代なのですがキャリアとしては大先輩なので、ずっと敬語で話しているんです」とコメント。また、12号車で参戦する新加入の平峰一貴は星野監督からのイケメン発言に照れながらも「監督からはガンガンいけと言われてます。ファンの皆さんからも熱い応援をいただいているので、開幕がとても楽しみです」とトークを盛り上げた。

イベントの最後には松村総監督が「日産チームは総力を挙げて復活を目指します。各チームはもちろんライバルでもありますが、力を合わせて頑張ります」とコメントした。



1 初公開した2020年仕様のGT500マシン、23号車のMOTUL AUTECH GT-R。DTMとの共通技術規格「クラス1」に則して車両を開発した。2 ニスモ代表取締役社長兼CEOの片桐が今シーズンの活躍を誓った。3 NISMOでステアリングを握る松田／ロニーのコンビは7年目、トークショーでも息の合った掛け合いで盛り上げた。4 会場内では、レースマシンの乗車体験やタイヤ交換体験などの「NISSAN MECHANIC CHALLENGE特別体験コーナー」、SUPER GT公式レースゲームの試遊コーナーが設けられた。ゲーム好きの平手も参戦。



## FIA FORMULA E CHAMPIONSHIP

### 強力なライバル参戦で激戦必至。ブエミ&ローランドの2台で覇権を掴む

昨シーズンに引き続き、FIA フォーミュラE選手権 (FE) に参戦する。日産 e.dams チームのチーム監督は、オリビエ・ドリオとグレゴリー・ドリオが務め、FE 史上最多勝を誇るセバスチャン・ブエミ (スイス) が 23 号車を、昨シーズンにルーキーオブザイヤーを獲得したオリバー・ローランド (英国) が 22 号車をドライブ。また、チームのリザーブ兼テストドライバーを高星明誠、シミュレータードライバーをヤン・マーデンボロが務めることも発表され、第 5 戦マラケシュ e-Prix の後に行われたテストに参加した。

今シーズンから、ル・マン 24 時間で 19 回の総合優勝を飾っているボルシェと、F1 世界選手権で目下 6 連覇中のメルセデスというワークスチームが参戦を開始。連覇を狙う中国系チームの DS テチータやアメリカの古豪チーム、アンドレッティなども速さを見せており、日産 e.dams チームにとって強力なライバルとなるだろう。



### カスタマーレーシングプログラム / カスタマーレーシング GT3プログラム

## SUPER GT GT300 CLASS

### 強敵揃いのクラスに5台のNISSAN GT-R NISMO GT3が参戦

SUPER GT GT300 クラスには、5 台の NISSAN GT-R NISMO GT3 が出場。GT3 オフィシャルパートナーチームである GAINER から引き続き 2 台が参戦。参戦初年度ながらランキング 6 位につけた KONDO RACING からは 1

台の NISSAN GT-R NISMO GT3 がエントリー。なお、KONDO RACING は、日産・自動車大学の学生や販売会社のテクニカルスタッフが参加する、レース活動を通じた人材育成プロジェクト「NISSAN MECHANIC CHALLENGE」を、引き

続き今シーズンも実施。スーパー耐久シリーズより開始した本活動は 9 年目へ突入し、日産圏全体の人材育成プログラムとして活用する。この他、NILZZ Racing、TOMEI SPORTS も参戦する。各チームのドライバーズラインアップは下記の通り。



No.	チーム	監督	ドライバー	車両名	タイヤ
10	GAINER	藤井一三	星野一樹 / 石川京侍	GAINER TANAX ITOCHU ENEX with IMPUL GT-R	ヨコハマ
11			平中克幸 / 安田裕信	GAINER TANAX GT-R	ダンロップ
56	KONDO RACING	近藤真彦	藤波清斗 / ジョアオ・バオリ・デ・オリベイラ (ブラジル)	リアライズ 日産自動車大学校 GT-R	ヨコハマ
48	NILZZ Racing	井倉淳一	田中優暉 / 飯田太陽	植毛ケーズフロンティア GT-R	ヨコハマ
360	TOMEI SPORTS	中野啓吉	青木孝行 / 田中篤 / 柴田優作	RUNUP RIVAUX GT-R	ヨコハマ

## NURBURGRING 24 HOURS

### 2年目のチャレンジで上位進出を目指す

3 年計画を掲げてニュルブルクリンク 24 時間レースに挑戦している KONDO RACING。トップクラスである SP9 クラスに NISSAN GT-R NISMO GT3 で 2 年目の挑戦となる。ドライバーは昨年から引き続いての参加となる松田次生と高星明誠に加え、今シーズンから GT500 クラスにステップアップを果たした平峰一貴とジョアオ・バオリ・デ・オリベイラが加わり、4 名でレースに挑む。いずれも監督を務める近藤真彦とともに戦った経験のあるドライバーラインアップで、参戦初年度だった昨年の総合 9 位 (クラス 8 位) を上回る上位進出を目指す。また、NISMO パフォーマンスセンター (NPC) のテクニカルスタッフから選抜された 4 名が、今年も KONDO RACING に合流してプロのレースメカニックとともに 24 時間レースを戦う。



## SUPER TAIKYU SERIES

### 2台のNISSAN GT-R NISMO GT3が参戦

スーパー耐久シリーズでは、ST-X クラスに MP Racing と TAIROKU Racing with B-MAX Engineering から各 1 台、合計 2 台の NISSAN GT-R NISMO GT3 が出場し、日産 / ニスモは、今年も技術支援を行う。なお、ST-3 クラスには、OKABEJIDOSHA motorsport から FAIRLADY Z NISMO RC が出場を予定している。

#### ビレリ・スーパー耐久シリーズ スケジュール

Round	日程	サーキット	レース時間
第 2 戦	4月25日~26日	スポーツランドSUGO	3時間×2レース
公式テスト	5月7日	富士スピードウェイ	(夜間走行あり)
第 3 戦	6月5日~7日	富士スピードウェイ	24時間×1レース
第 4 戦	8月1日~2日	オートボリス	5時間×1レース
第 5 戦	9月19日~20日	ツインリンクもてぎ	5時間×1レース
第 6 戦	10月31日~11月1日	岡山国際サーキット	3時間×2レース
第 1 戦	11月21日~22日	鈴鹿サーキット	5時間×2レース

※第 1 戦は日程が変更になりました。



### カスタマーレーシング エンジンサプライプログラム

プロトタイプカー向けのレースエンジンを引き続き供給し、技術支援を行う。今シーズンは、世界各地で開催される LMP3 クラスのレースに出場するチームに対し、2015 年から供給してきた VK50 エンジンに加え、2020 年シーズンから導入される LMP3 規則に対応する VK56 エンジンを新規開発し、オレカ社 (フランス) を通じて供給していく。VK56 エンジンは、ヨーロッパ・ル・マン・シリーズやミシュラン・ル・マン・カップなど欧州でのシリーズ参戦チームに供給される。



NISSAN VK56 エンジン



リジェ JS P320 (VK56搭載)

### グラスルーツ支援活動

国内外で行われる参加型モータースポーツでのパーツ供給や技術支援等を通じて、日産車ユーザーのグラスルーツモータースポーツ活動を適宜支援する。海外では、カナダでマイクラ (日本名: マーチ) によるワンメイクレース、マイクラカップが開催される (写真は 2018 年開催のもの)。

